

## 高等学校の新学習指導要領解説書における「新聞」関連記述(抜粋)

この資料は、新学習指導要領（平成30年3月告示）解説（同年7月）から、「新聞」「報道」「論説」「ニュース」などの記述を抜き出したものです。「新聞」以外の語句については、新聞との関連性を勘案して抽出しています。

### 【商業科】

#### 第1章 総説

##### 第3節 商業科の目標

教科の目標は、次のとおりである。

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

商業科においては、関連する職業に従事する上で必要な資質・能力を育み、社会や産業を支える人材を育成してきた。今回の改訂では、こうしたことを踏まえ、商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成を目指すことを教科の目標に示した。

また、経済のグローバル化、情報技術の進歩など経済社会を取り巻く環境が大きく変化する中であって、必要とされる専門的な知識、技術などが変化するとともに、高度化してきていることから、育成を目指す資質・能力について、改めてビジネスで求められる資質・能力を見据えて三つの柱に沿って整理し、(1)には「知識及び技術」を、(2)には「思考力、判断力、表現力等」を、(3)には「学びに向かう力、人間性等」を示した。(略)

#### 2 「(1) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。」について

商業の各分野とは、高等学校における商業に関する学習内容を体系的に分類した学習分野であるマーケティング分野、マネジメント分野、会計分野、ビジネス情報分野を意味している。

体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにするとは、ビジネスに関する個別の事実的な知識、一定の手順や段階を追って身に付く個別の技術のみな

らず、それらが相互に関連付けられるとともに、具体的なビジネスと結び付くなどした、ビジネスの様々な場面で役に立つ知識と技術、将来の職業を見通して更に専門的な学習を続けることにつながる知識と技術などを身に付けるようにすることを意味している。

このような知識と技術を身に付けるためには、ビジネスに関する理論について実験などにより確認する学習活動、ビジネスに関する**新聞記事**や**ニュース**などについて知識と技術を総合的に活用して生徒自らが解説する学習活動、ビジネスに関する知識をビジネスの具体的な事例と関連付けて考察する学習活動、商業の学習と職業との関連について理解を深める学習活動などが大切である。(略)

## 第2章 商業科の各科目

### 第1節 ビジネス基礎

#### 第2 内容とその取扱い

##### 1 内容の構成及び取扱い

(内容を取り扱う際の配慮事項)

イ 各種メディアの情報を活用するなどして経済社会の動向を捉える学習活動を通して、ビジネスについて理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、ビジネスについて理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、単に知識と技術を身に付けることにとどまらず、**新聞**、放送など各種**メディア**の情報を活用するなどして、経済活動の具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやグループでの分析や考察などにより経済社会の動向を捉える学習活動を取り入れることが大切である。

### 第5節 マーケティング

#### 第2 内容とその取扱い

##### 1 内容の構成及び取扱い

(内容を取り扱う際の配慮事項)

イ マーケティングの動向・課題を捉える学習活動及びマーケティングに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、企業で行われているマーケティングについて理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、企業で行われているマーケティングについて理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、マーケティングの動向・課題についてマーケティングを担う当事者の視点をもって捉える学習活動及びマーケティングに関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやディベートなどにより、

ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、市場の動向やマーケティングに関する理論などと関連付けて分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

## 第6節 商品開発と流通

### 第2 内容とその取扱い

#### 1 内容の構成及び取扱い

(内容を取り扱う際の配慮事項)

イ 商品開発と流通の動向・課題を捉える学習活動及び商品開発と流通に関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、企業で行われている商品開発と流通について理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、企業で行われている商品開発と流通について理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、商品開発と流通の動向・課題について商品開発と流通を担う当事者の視点をもって捉える学習活動及び商品開発と流通に関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやディベートなどにより、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、市場の動向や商品開発と流通に関する理論などと関連付けて分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

## 第7節 観光ビジネス

### 第2 内容とその取扱い

#### 1 内容の構成及び取扱い

(内容を取り扱う際の配慮事項)

ア 観光ビジネスの動向・課題を捉える学習活動及び観光ビジネスに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、企業で行われている観光ビジネスについて理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、企業で行われている観光ビジネスについて理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、観光ビジネスの動向・課題について観光ビジネスを担う当事者の視点をもって捉える学習活動及び観光ビジネスに関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやディベートなどにより、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、市場の動向や観光ビジネスに関する理論などと関連付けて分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

## 第8節 ビジネス・マネジメント

### 第2 内容とその取扱い

#### 1 内容の構成及び取扱い

##### (内容を取り扱う際の配慮事項)

ア 適切なマネジメントの重要性について企業の社会的責任や企業倫理との関連から捉える学習活動及びマネジメントに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、ビジネスにおけるマネジメントについて理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、ビジネスにおけるマネジメントについて理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、適切なマネジメントの重要性について企業の社会的責任や企業倫理との関連から捉える学習活動及びマネジメントに関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやディベートなどにより、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、経済社会の動向やマネジメントに関する理論などと関連付けて分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

## 第9節 グローバル経済

### 第2 内容とその取扱い

#### 1 内容の構成及び取扱い

##### (内容を取り扱う際の配慮事項)

ア 地球規模で経済を俯瞰して経済社会の動向・課題を捉える学習活動及び経済のグローバル化に関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、経済のグローバル化について理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、経済のグローバル化について理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、ビジネスを担う当事者の視点をもって地球規模で経済を俯瞰して経済社会の動向・課題を捉える学習活動及び経済のグローバル化に関する**新聞記事**や**ニュース**などについて、経済のグローバル化をはじめとした様々な知識、技術などを総合的に活用して生徒自らが解説する学習活動を取り入れることが大切である。また、経済のグローバル化に関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやディベートなどにより、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、経済社会の動向や経済に関する理論などと関連付けて分析し、

考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

## 第10節 ビジネス法規

### 第2 内容とその取扱い

#### 1 内容の構成及び取扱い

(内容を取り扱う際の配慮事項)

ア ビジネスに関する法規の改正などの動向・課題を捉える学習活動及びビジネスに関する具体的な事例について法的側面から分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、ビジネスに関する法規について理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、ビジネスに関する法規について理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、法規の解釈と適用についての学習にとどまらず、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、ビジネスに関する法規の改正などの動向・課題についてビジネスを担う当事者の視点をもって捉える学習活動及びビジネスに関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディ、ディベート、模擬裁判などにより、妥当性と課題などについて法的側面から分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

## 第13節 財務会計Ⅱ

### 第2 内容とその取扱い

#### 1 内容の構成及び取扱い

(内容を取り扱う際の配慮事項)

ウ 企業の経営判断に関する具体的な事例について企業に及ぼす影響を会計的側面から分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、企業活動と財務会計との関連について理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、企業活動と財務会計との関連について理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、企業の経営判断に関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやディベートなどにより、財務諸表などを基に企業に及ぼす影響を分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

## 第16節 情報処理

### 第2 内容とその取扱い

#### 1 内容の構成及び取扱い

(内容を取り扱う際の配慮事項)

ア 企業における情報の管理と活用に関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、情報を扱う者としての役割と責任について理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、情報を扱う者としての役割と責任について理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、企業における個人情報や知的財産の保護、情報の管理、発信する情報に対する責任などに関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやディベートなどにより、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、情報が漏洩した場合の企業経営や社会に及ぼす影響などと関連付けて分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

## 第 19 節 ネットワーク活用

### 第 2 内容とその取扱い

#### 1 内容の構成及び取扱い

(内容を取り扱う際の配慮事項)

ア ビジネスにおけるインターネットの活用の動向・課題を捉える学習活動及びビジネスにおけるインターネットの活用に関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、ビジネスにおけるインターネットの活用について理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、ビジネスにおけるインターネットの活用について理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、インターネットを活用した企業情報の発信や商取引などのビジネスの動向・課題についてビジネスを担う当事者の視点をもって捉える学習活動を取り入れることが大切である。また、情報技術の進歩や顧客のニーズの変化などに伴って新たに生み出されるビジネスなどに関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやディベートなどにより、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、経済社会の発展などと関連付けて分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

## 第 20 節 ネットワーク管理

### 第 2 内容とその取扱い

#### 1 内容の構成及び取扱い

(内容を取り扱う際の配慮事項)

ア 情報セキュリティ管理及び情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理に関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通し

て、情報資産を共有し保護する環境の提供を担う者としての役割と責任について理解を深めることができるようにすること。

内容を取り扱う際には、情報資産を共有し保護する環境の提供を担う者としての役割と責任について理解を深めることができるようにすることとしている。

そのため、**新聞**、放送、インターネットなどを活用して情報を入手し、情報セキュリティ管理及び情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理に関する具体的な事例を取り上げ、ケーススタディやディベートなどにより、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、適切な情報通信ネットワークの管理が社会や企業経営に及ぼす影響などに関連付けて分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れることが大切である。

以 上